ID No.202	
研究課題名	自己免疫疾患におけるレクチンレセプターの生理的・病理的役割の解明
研究代表者	山崎 晶 (九州大学・教授)
研究組織	
受入教員	岩倉 洋一郎 (東京大学医科学研究所)
研究分担者	三宅 靖延 (九州大学)
	石川 絵里 (九州大学)
	角田 茂 (東京大学医科学研究所)
	西城 忍 (東京大学医科学研究所)
研究報告	
<p>Mincle遺伝子座をGFP-IRES-DTR(GID)で置換したノックインマウスの樹立に成功した。得られたMincle^{GID/+}マウスの子孫細胞はLPS刺激に応答してMincleとGFPの誘導が検出されたことから、GFP発現はMincle発現を忠実に反映することが確認できた。一方、Mincle^{GID/GID}マウスではGFPの誘導は見られるが、Mincleの発現は失われていた。さらに、DT投与によってMincle陽性細胞が速やかに消失することも判明した。以上より、当該マウスは、Mincle発現細胞をGFPの蛍光で追跡可能であり、かつMincle発現細胞を時期特異的に除去可能なモデルであることが確認された。</p>	